様式第１号

部の運営方針・課の目標設定書（平成２４年度）

部コード	15	部　名	教育総務部	部長名	高橋　俊明

１．部の運営方針（予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
１　学校教育の充実 「豊かな心の育成と望ましい人間関係づくり」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、「生きる力」の育成に努めます。 （１）小中交流授業や積極的な生徒指導の推進、コミュニケーション能力の育成、情報モラル教育の強化とともに、研修体制を充実させ、教職員の質の向上を図ります。 （２）給食における地産地消の推進をはじめとする食に関する教育の充実や、スポーツに関する教育を通して体力の向上に取り組みます。また、給食に使用する食材・食品の放射性物質の測定を行い、食の安全を確保します。 （３）アドバイザー事業などを通して学校をサポートし、校内委員会の機能を充実させるとともに、関係機関とも連携を深め、特別支援教育と不登校対策の推進を図ります。 （４）過大・過小規模校の問題解消に向け、対象となる学校の通学区域の見直しを行います。 （５）体育館の耐震補強工事や震災の復旧工事などのほか、放射線量の測定と低減策を実施し、安全で安心して快適に学べる教育・学習環境の整備・充実を図ります。 ２　地域に根ざした教育の充実 （１）郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 （２）学校外部評価結果の反映、学校支援地域ボランティア活動の推進、キャリア教育における地域の事業所との連携強化など、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 ３　子どもの成長、自立への支援 （１）自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 （２）いじめや非行など子どもを取り巻く問題を解決するため、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう支援をしていきます。	部の運営方針に対する部全体の総合評価

課コード	01	課　名	総務課	課長名	湯下文雄

２．課の目標（部の運営方針を受けて課の取組方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
・子どもたちが安全で快適な学校生活を送れるよう、次の点を課の年度目標として進めて行きます。 ①東日本大震災で受けた学校施設の復旧工事及び放射能の除染対策を進めます。 ②体育館の耐震補強等工事を進めます。（我孫子第一小学校、我孫子第四小学校、高野山小学校、湖北小学校） ③体育館の耐震工事を進めるため体育館耐震補強設計を進めます。（並木小学校、我孫子第三小学校、白山中学校） ④児童の増加に対応するため、第二小学校の増築工事を進めます。 ⑤児童生徒の学習環境改善のため中学校の教室に扇風機の設置を進めます。 ⑥児童・生徒の増加に対応するため、教室改修工事を進めます。	
３．課の目標を達成する上での課題と対応（人員の配置、組織のあり方など）	
東日本大震災への対応や放射能対策、また、体育館の計画的な耐震設計の実施及び耐震工事等、学校施設の耐震化を計画通り進めるためには、職員の体制の強化が必須である。	

４．原因分析・改善策	
（課長）	（部長）

５．課の目標を達成するために取り組む事務事業

	事務事業名（個別事業）	重プ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1	小中学校の緑化推進	重４	52104	緑化推進学校数	校	0	19			
2	小中学校施設 の維持管理	重４	52104	改善工事・修繕実施校数	校	0	19			
3	小中学校教室環境整備事業	重４	52104	中学校教室扇風機設置完了校数	校	0	6			
4	小学校校舎の増築	重４	52104	増築工事完了校数	校	0	1			
5	教育要覧「我孫子の教育」の発行		00000	HP・磁気データの作成による印刷製本費の皆減	枚	0	70			
6	小中学校体育館耐震補強事業	重３	70104	耐震補強工事完了棟数	棟	3	4			
7	小中学校教室改修工事	重４	52104	設計又は改造工事校数	校	0	3			
8	学校給食施設の改修	重４	52104	設計完了校数	校	0	1			
9	小中学校施設の放射能対策	重３	12203	除染工事完了校数	校	0	19			
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										

様式第１号

部の運営方針・課の目標設定書（平成２４年度）

部コード	15	部　名	教育総務部	部長名	高橋　俊明

１．部の運営方針（予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
１　学校教育の充実 「豊かな心の育成と望ましい人間関係づくり」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、「生きる力」の育成に努めます。 （１）小中交流授業や積極的な生徒指導の推進、コミュニケーション能力の育成、情報モラル教育の強化とともに、研修体制を充実させ、教職員の質の向上を図ります。 （２）給食における地産地消の推進をはじめとする食に関する教育の充実や、スポーツに関する教育を通して体力の向上に取り組みます。また、給食に使用する食材・食品の放射性物質の測定を行い、食の安全を確保します。 （３）アドバイザー事業などを通して学校をサポートし、校内委員会の機能を充実させるとともに、関係機関とも連携を深め、特別支援教育と不登校対策の推進を図ります。 （４）過大・過小規模校の問題解消に向け、対象となる学校の通学区域の見直しを行います。 （５）体育館の耐震補強工事や震災の復旧工事などのほか、放射線量の測定と低減策を実施し、安全で安心して快適に学べる教育・学習環境の整備・充実を図ります。 ２　地域に根ざした教育の充実 （１）郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 （２）学校外部評価結果の反映、学校支援地域ボランティア活動の推進、キャリア教育における地域の事業所との連携強化など、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 ３　子どもの成長、自立への支援 （１）自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 （２）いじめや非行など子どもを取り巻く問題を解決するため、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう支援をしていきます。	部の運営方針に対する部全体の総合評価

課コード	02	課　名	学校教育課	課長名	直井　淳

２．課の目標（部の運営方針を受けて課の取組方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
・個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようスクールサポート教員等の配置を適正に行います。 ・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。栄養教諭を中核とした「食育カリキュラム」の見直しや、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消の推進、保護者を対象にしたヘルシー料理教室の開催等を行います。 ・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、学校施設、設備、備品の充実を図り教育環境を整えます。 ・学校評議員会議で学校評価を実施するなど、地域に開かれた学校づくりを一層推進します。	
３．課の目標を達成する上での課題と対応（人員の配置、組織のあり方など）	
課内の管理、学務、学校給食、学校保健担当がそれぞれの事業を受け持っているが、繁忙期には的確かつ迅速に処理を要するため、担当間での協力、連携が極めて重要である。	

４．原因分析・改善策	
（課長）	（部長）

５．課の目標を達成するために取り組む事務事業

	事務事業名（個別事業）	重プ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1	スクールサポート教員の配置事業	重無	52102	スクールサポート教員の配置率　（小学校６人　中学校４人）	%	42	100			
2	小中学校配置職員管理事業	重５	52101	配置定数	人	34	45			
3	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業	重４	52103	学校長の請求に基づき支給。	%	100	100			
4	発達障害を持つ児童・生徒の就学指導	重４	52103	相談人数・審議人数	%	100	100			
5	児童・生徒・教職員健康診断事業	重５	52101	実施者数/児童・生徒・教職員健診対象者	%	98	99			
6	我孫子市学校保健会運営	重５	52101	生活習慣病予防検診対象者/実施者	%	72	80			
7	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	重５	52101	災害共済申請事務の減（申請件数）	件	826	800			
8	学校給食会運営事業	重５	52101	我孫子市主催の研修会への参加率（各会の参加率の平均）	%	92	100			
9	学校給食備品管理事業	重５	52101	計画表に基づく、備品の設置率	%	79	59			
10	学校給食管理運営事業	重５	52101	安心・安全でおいしい学校給食を実施できた日数	%	98	100			
11	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	重５	52101	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童	%	78	100			
12	学校の環境衛生事業	重４	52104	基準値内校/全１９校	%	84	100			
13	小中学校管理運営事業	重４	52104	予算執行率	%	100	100			
14	小学校の安全管理員の配置	重４	52104	未事故であった小学校	校	13	13			
15	小中学校備品管理事業	重４	52104	予算執行率	%	100	100			
16	学校評議員制度の充実	重４	52201	学校評議員による学校評価及び改善への学校の取組み状況。	%	80	90			
17	小中学校給食調理業務の民間委託事業	重無	83202	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校	17	17			
18	学校給食大型備品整備事業	重５	52101	計画表に基づく大型備品が配置できた割合	%	6	15			
19	学級編制及び学籍管理　　（法令に基づく適切な事務）事業	重４	52104	適切な事務の遂行。	%	100	100			
20	学校給食施設設備整備事業	重５	52101	修繕・工事を実施した校数	校	0	100			
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										

様式第１号

部の運営方針・課の目標設定書（平成２４年度）

部コード	15	部　名	教育総務部	部長名	高橋　俊明

１．部の運営方針（予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
１　学校教育の充実 「豊かな心の育成と望ましい人間関係づくり」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、「生きる力」の育成に努めます。 （１）小中交流授業や積極的な生徒指導の推進、コミュニケーション能力の育成、情報モラル教育の強化とともに、研修体制を充実させ、教職員の質の向上を図ります。 （２）給食における地産地消の推進をはじめとする食に関する教育の充実や、スポーツに関する教育を通して体力の向上に取り組みます。また、給食に使用する食材・食品の放射性物質の測定を行い、食の安全を確保します。 （３）アドバイザー事業などを通して学校をサポートし、校内委員会の機能を充実させるとともに、関係機関とも連携を深め、特別支援教育と不登校対策の推進を図ります。 （４）過大・過小規模校の問題解消に向け、対象となる学校の通学区域の見直しを行います。 （５）体育館の耐震補強工事や震災の復旧工事などのほか、放射線量の測定と低減策を実施し、安全で安心して快適に学べる教育・学習環境の整備・充実を図ります。 ２　地域に根ざした教育の充実 （１）郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 （２）学校外部評価結果の反映、学校支援地域ボランティア活動の推進、キャリア教育における地域の事業所との連携強化など、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 ３　子どもの成長、自立への支援 （１）自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 （２）いじめや非行など子どもを取り巻く問題を解決するため、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう支援をしていきます。	部の運営方針に対する部全体の総合評価

課コード	03	課　名	指導課	課長名	野口恵一

２．課の目標（部の運営方針を受けて課の取組方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
子どもたちに学習指導要領の示す「生きる力」をはぐくむために、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせ、思考力・判断力・表現力などを育成する教育を推進していく。 ・うるおいのある活きた学力を育てるために、教職員の資質向上に向けた各種研修を充実させる。 ・言語活動の充実、体験的活動の充実、道徳教育の充実を図り、豊かな心の育成、望ましい人間関係づくりの育成を図る。 ・健やかな体の育成を目指し、教育活動全体を通した体力の向上推進を図るとともに、食に関する教育に努め、健康教育を推進する。 ・情報コミュニケーション能力の育成のため、ＩＣＴ（情報通信技術）整備を進めるとともに、情報モラルの教育を進め、情報化社会に参画する態度の育成を図る。 ・子どもたちの発達に応じたキャリア教育を地域と協力して推進するとともに、学校支援地域本部など地域で学校教育を支える仕組み作りを強化する。 ・小学校での英語活動の充実に向け、ＡＬＴ（外国語指導助手）と小学校教員、中学校教　員との連携を強化し、中学校との円滑な接続ができるように授業方法を検討する。	
３．課の目標を達成する上での課題と対応（人員の配置、組織のあり方など）	
・今日的な教育課題に対応した教職員研修の内容等の見直しが必要です。 ・学校支援地域本部事業推進のために、組織と連絡会議の充実が必要です。 ・小学校の英語活動の充実のため、ＡＬＴの指導方法研修の推進と小・中学校英語教育連携の強化が必要です。 上記３点により、組織と体制を強化する。	

４．原因分析・改善策	
（課長）	（部長）

５．課の目標を達成するために取り組む事務事業

	事務事業名（個別事業）	重プ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1	キャリア教育の推進	重４	52201	地域の職場で体験学習を実施した学校数	校	19	19			
2	国際理解教育の推進（ＡＬＴ）	重無	43102	ＡＬＴの年間のべ勤務日数	日	1,944	2,160			
3	学校支援ボランティア事業の充実	重４	52201	協力いただいたボランティアの人数	人	6,000	8,000			
4	学力向上研修・小中交流授業研修	重無	52102	交流授業参加者数	人	100	120			
5	小中学校への要請訪問指導	重無	52102	要請訪問の延べ人数	人	151	170			
6	小中学校教師用教科書及び指導書の配布	重無	52102	配布対象に対する教師用教科書、指導書配付率	%	0	100			
7	小中学校体育・文化活動事業	重５	52101	市内の体育活動や小中体育連盟等の活動費助成割合	%	90	100			
8	我孫子市学校教育施策の策定、編集	重無	52102	関係者への配付率	%	100	100			
9	教職員資質向上研修	重無	52102	計画した研修の実施回数	%	100	100			
10	きずなの発行	重４	52302	広報紙による啓発を進める。	枚	18,000	18,000			
11	こども１１０番の家	重４	52302	こども１１０番の家の増設	件	850	880			
12	不審者対策・ホームページ作成	重４	52302	不審者情報メール配信の登録者数	件	1,000	1,200			
13	市内街頭指導	重４	52302	触法少年への積極的な声かけ活動の展開で安全な暮らしを確保す	人／	748	800			
14	環境浄化活動・調査活動	重４	52302	有害図書の自動販売機、風俗関係の捨て看板、チラシのの設置件	件	0	0			
15	小中学校コンピュータ教育事業	重無	52102	コンピュータ・ネットワーク機器の充足率	%	53	80			
16	子ども議会	重無	52202	子ども議員の意見の数	数	19	19			
17	ふるさとカリキュラムの開発	重無	52202	補助教材の作成、授業研究の実施率	%	0	100			
18	小中学校理数教育支援事業	重無	52102	理数教育サポーターの派遣人数	人	0	1			
19	学級経営支援事業	重無	52102	Q-U検査において、学級生活満足群に属する児童・生徒	%	57.5	65			
20	幼保小連携	重４	52104	幼保小連携活動の施設数	%	9	70			
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										

様式第１号

部の運営方針・課の目標設定書（平成２４年度）

部コード	15	部　名	教育総務部	部長名	高橋　俊明

１．部の運営方針（予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
１　学校教育の充実 「豊かな心の育成と望ましい人間関係づくり」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、「生きる力」の育成に努めます。 （１）小中交流授業や積極的な生徒指導の推進、コミュニケーション能力の育成、情報モラル教育の強化とともに、研修体制を充実させ、教職員の質の向上を図ります。 （２）給食における地産地消の推進をはじめとする食に関する教育の充実や、スポーツに関する教育を通して体力の向上に取り組みます。また、給食に使用する食材・食品の放射性物質の測定を行い、食の安全を確保します。 （３）アドバイザー事業などを通して学校をサポートし、校内委員会の機能を充実させるとともに、関係機関とも連携を深め、特別支援教育と不登校対策の推進を図ります。 （４）過大・過小規模校の問題解消に向け、対象となる学校の通学区域の見直しを行います。 （５）体育館の耐震補強工事や震災の復旧工事などのほか、放射線量の測定と低減策を実施し、安全で安心して快適に学べる教育・学習環境の整備・充実を図ります。 ２　地域に根ざした教育の充実 （１）郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 （２）学校外部評価結果の反映、学校支援地域ボランティア活動の推進、キャリア教育における地域の事業所との連携強化など、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 ３　子どもの成長、自立への支援 （１）自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 （２）いじめや非行など子どもを取り巻く問題を解決するため、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう支援をしていきます。	部の運営方針に対する部全体の総合評価

課コード	04	課　名	教育研究所	課長名	石井　美文

２．課の目標（部の運営方針を受けて課の取組方針を記入）	部の運営方針に対する課の目標への取組結果
１．特別支援教育を充実させ、発達障害を含めた障害のある児童生徒の一人一人の教育的ニーズに対応する教育を進めていきます。 ①教育研究所アドバイザー事業等を通して，児童生徒の支援の充実及び特別支援教育コーディネーターを核にした校内委員会の機能の充実・強化に努めます。 ②学級や児童生徒への指導・支援が適切かつ効果的に行われるよう，学級支援員の適正な配置・確認を行うと共に個別の教育支援計画・指導計画の作成や活用の充実を図ります。 ２．不登校の改善・解消が図られるよう、学校との協力体制を強化し、児童生徒及び保護者を支援していきます。 ①心の教室相談員（在宅訪問指導員）やヤング手賀沼等の関係機関と学校との連携を密にした支援体制を強化し学校を支えていきます。 ②長欠対策連絡協議会を充実させ、学校と関係機関及び小・中学校間との連携をさらに強化します。 ３．地域学習の充実を図るため，学習図鑑「ふるさと我孫子」の改訂・発行及び小学校社会科副読本「わたしたちの我孫子」の改訂のための編集を進めます。	
３．課の目標を達成する上での課題と対応（人員の配置、組織のあり方など）	
１．相談事業及びアドバイザー事業等の充実・促進のために、学校とのさらなる連携及び心理職（正職員もしくは嘱託職員）の増員が必要である。 ２．不登校の改善をさらに図るには、関係機関と学校との密接な連携を組織的に行うことが必要である。 ３．準教科書としての副読本の質を確実に担保できる業者との契約が必要である。	

４．原因分析・改善策	
（課長）	（部長）

５．課の目標を達成するために取り組む事務事業

	事務事業名（個別事業）	重プ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1	教職員論文集の発行	重５	52101	論文内容の充実度	%	90	100			
2	スーパーバイザーの派遣	重４	52103	指導・助言が役に立った率	%	90	100			
3	学級支援員派遣事業	重４	52103	対象児童生徒への配置率	%	100	100			
4	教育研究所巡回事業	重４	52103	個別の指導計画作成率	%	93	100			
5	特別支援教育に関する研修会	重４	52103	受講者の理解度及び満足度（アンケートによる）	%	90	100			
6	教育研究所アドバイザー事業	重４	52103	アドバイザー派遣回数	回	160	160			
7	在宅訪問指導員の派遣	重４	52103	在宅訪問指導員指導回数60回	回	53	60			
8	学校教育相談研修会	重４	52103	研修内容の理解率	%	80	90			
9	就学相談事業	重４	52103	就学相談を受けたことについての保護者の満足度	%	84.7	90			
10	心の教室相談員の派遣	重４	52103	年間相談件数	件	7,353	8,000			
11	教育相談・発達相談事業	重４	52103	継続ケースの保護者にアンケートを実施し，相談の満足度をはか	%	91.6	100			
12	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	重４	52103	ヤング手賀沼に通級している児童生徒の出席率	%	52	60			
13	長欠対策主任研修会	重４	52103	研修会の内容の理解率	%	80	90			
14	副読本（社会科副読本「わたしたちの我孫子」）の改訂	重無	52202	内容を検討し指導計画及び評価問題を改訂した割合	%	80	100			
15	副読本（学習図鑑「ふるさと手賀沼」）の改訂	重無	52202	当該年度の第６版編集作業計画のうち実施した割合	%	80	100			
16	「聞こえ」の相談会事業	重４	52103	「聞こえ」の相談会および研修会の年間参加者数	人	33	37			
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										